



総務省

e-かわらばん近畿

近畿総合通信局

2018年12月26日

第262号 1/2

「関西サイバーセキュリティ・ネットワーク キックオフフォーラム」を開催 - 関西の産学官が連携し、サイバーセキュリティ対策に取り組みます！ -

平成30年10月17日に関西のサイバーセキュリティ分野に関心の高い産学官等が連携し、関西におけるサイバーセキュリティの重要性についての認識の醸成及び情報交換の活性化を図るとともに、サイバーセキュリティの向上に資する人材の発掘・育成の円滑化を進めることを目的とした「関西サイバーセキュリティ・ネットワーク」が立ち上がり、近畿総合通信局は共同事務局として参画いたします。

そのキックオフイベントとして、産学官の有識者が一同に会して講演やパネルディスカッションを行うとともに、参加者との交流を深め今後のネットワークの活性化を図るためのフォーラムが、平成30年11月12日に大阪市内で開催され、企業等の関係者など約200人が参加しました。



大橋局長の基調講演

このフォーラムの基調講演では、当局の大橋秀行局長が「サイバーセキュリティ政策の動向について」と題し、サイバーセキュリティ上の脅威が深刻化している現状を身近なIoT機器を狙った脅威などの具体例を用いて紹介したほか、政府全体としてのサイバーセキュリティ戦略の概要、総合的な対策として法令・体制の整備状況、ウィルス感染予防やAI技術を活用したサイバーセキュリティ研究開発の現状、セキュリティ人材の育成状況等について講演を行いました。

講演の最後には、サイバーセキュリティ対策は「費用」ではなく「投資」であるとして、企業等の経営層が問題意識を持ち、これを実行していくための戦略的マネジメント人材の育成が重要であると訴えかけました。

続いて、特別講演として、防衛省及び経済産業省などでもサイバーセキュリティに携わってきた経験を持つ伊東 寛氏（ファイア・アイCTO）から、「これからの日本に必要なとされるサイバセセキュリティ人材の育成について」に講演をいただき、パネルディスカッションとして、有識者達が「サイバーセキュリティの普及と人材の発掘・育成について」をテーマに企業におけるサイバーセキュリティ人材の雇用や社員研修などを中心に議論を行いました。



セミナーの様相

このキックオフフォーラムを皮切りに、企業担当者向けの人材育成にかかる「サイバーセキュリティ・リレー講座」を11月から平成31年1月にかけて連続講座として開催（※応募は締め切りました。）するなど、今後も取り組みを進めてまいります。

特定信書便事業を許可しました

近畿総合通信局は、平成30年11月30日、有限会社ナインサービス（大阪府）に対し、特定信書便事業を許可しました。

今回の許可により、近畿2府4県の特定信書便事業者は88者となりました。

←左：(有)ナインサービス 大濱達夫代表取締役
右：永利正統総務部長



総務省
近畿総合通信局

Kinki Bureau of Telecommunications

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/>

編集・発行 近畿総合通信局
総務部総務課 企画広報室

〒540 -8795 大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館 電話：06(6942)8508



総務省

e-かわらばん近畿

近畿総合通信局

2018年12月26日

第262号 2/2

「けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2018」を開催 -ビッグデータを活要した観光振興に向けて-

近畿総合通信局は、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会と共催で、平成30年11月19日、大阪市内で「けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2018」を開催しました。

本シンポジウムは、関西が強みを持つ分野である観光やインバウンドについて、ビッグデータの活用を通じて、関西の観光の活性化や様々な課題の解決につなげていくことを目的としたもので、産学公の関係者5名による講演とパネルディスカッションが行われました。

シンポジウムの模様 →



【講演1】「関西インバウンドの課題と展望-ビッグデータの活用性-」 甲南大学教授 稲田義久氏
個票データから得られる訪日外国人の消費傾向、移動パターンについてそして台風21号が与えた関西経済への影響について講演しました。

【講演2】「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市を目指して」 京都市課長 西松卓哉氏
京都がさらに国際文化観光都市として輝くために行っている取り組みについて講演しました。

【講演3】「「住んでよし、訪れてよし」の超快適スマート京都の創出に向けて」 京都府課長 島田和幸氏
* 京都府が取り組んでいるスマートシティプロジェクト、総務省補助事業のデータ利活用型スマートシティモデル構築事業について紹介しました。

【講演4】「観光ビッグデータを使ったインバウンド対策の現場」 (株) ナイトレイCOO 柏木祐輔氏
株式会社ナイトレイが取り組むロケーションデータや決済データなどから得られる動態情報についての活用について講演しました。

【講演5】「インバウンド観光におけるデータ利活用の可能性」 京都大学教授 佐藤彰洋氏
観光統計と衛星データを組み合わせ、観光名所のポテンシャルのある場所を見いだすなど地域経済の活性に貢献できる事例と課題について講演しました。

【パネルディスカッション】

講演者をパネリストに、観光振興に向けたビッグデータの活用について議論が行われました。

各地でIoTの人材育成を支援しています -大阪、京都で「IoT人材育成セミナー」を開催-

近畿総合通信局は、大阪市内及び京都市内において「実践に効く『IoT人材育成セミナー』」を開催しました。

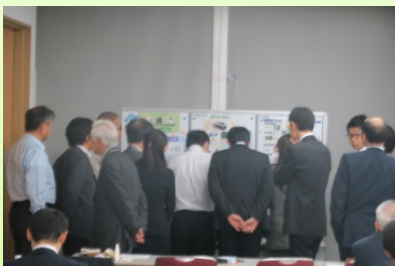
本セミナーは、IoTの導入・利活用により業務効率・生産性の向上や新規事業への展開を検討している企業などを対象に、IoTの基礎知識の学習と、講義やワークショップによる課題解決の検討など、IoTの導入に向けた手順を参加者が一緒に学習する人材育成を目的としています。

ワークショップでは、参加者がグループ毎に分かれて、IoTでどのような業務課題を解決するかなど活発な話し合いがなされました。



↑ セミナーの模様

(京都会場：平成30年12月11日 開催)



↑ 展示されたIoT機器の見学模様 (大阪会場：平成30年11月9日 開催)